

岡山県感染症週報

2012 年 第 2 週（1 月 9 日～1 月 15 日）

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

◆2012 年 第 2 週（1/9～1/15）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

<2011 年>

第 51 週 2 類感染症 結核 10 名（20 代 女 3 名、30 代 女 1 名、50 代 女 1 名、60 代 男 1 名・女 1 名、70 代 男 1 名、80 代 男 1 名、90 代 男 1 名）

5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名（70 代 男）

第 52 週 2 類感染症 結核 5 名（20 代 女 1 名、30 代 女 1 名、60 代 女 1 名、70 代 男 1 名、80 代 女 1 名）

<2012 年>

第 1 週 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名（40 代 男） の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 1,152 名（定点あたり 13.71 人）の報告があり、前週より大きく増加し、県全体、および岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域で感染症発生レベル 2 になりました。

○感染性胃腸炎は、県全体ではわずかに増加しました。

【第 3 週 速報】

○インフルエンザとみられる臨時休業が、124 施設ありました（1 月 16 日～1 月 20 日まで）。

▽岡山市 52 ▽倉敷市 22 ▽備前地域 10 ▽備中地域 24 ▽備北地域 6 ▽真庭地域 3 ▽美作地域 7

○手足口病による学年閉鎖が、高梁市でありました（1 月 19 日）。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 1,152 名（定点あたり 13.71 人）の報告があり、前週（定点あたり 7.79 人）より大きく増加しました。県内全域で患者が増加し、県全体および岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域では感染症発生レベル 2 になり、県南部を中心に流行が拡大しています。県内の発生状況・臨時休業情報などは [『インフルエンザ情報』](#) をご覧ください。
全国集計第 2 週（1/9～1/15）速報値によると、全国では定点あたり 7.33 人、すべての都道府県で前週よりも増加しています。岡山県では、ひきつづき全国平均を大きく上まわっています。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、県全体ではわずかに増加しました（定点あたり 7.17 → 7.33 人）。詳しい県内の発生状況は [『感染性胃腸炎情報』](#) をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭		★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減

1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★★多い ★★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

保健所別報告患者数

において

数字

は感染症マップにおいて レベル 3

数字

は感染症マップにおいて レベル 2

を示しています。

インフルエンザ情報 第2週 2012年1月9日～1月15日

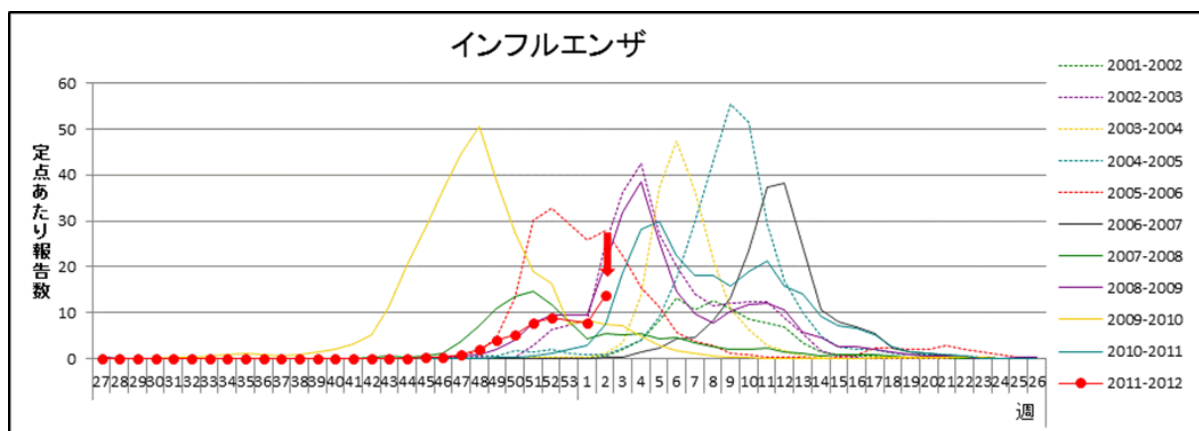
岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 1,152 名（ 定点あたり 13.71 人 ）の報告があり、前週より大きく増加しました。
- 県全体で感染症発生レベル 2 になり、地域別ではレベル 2 の地域が、倉敷市に加え、岡山市・備前地域・備中地域に拡大しました。
- インフルエンザとみられる臨時休業が 9 施設（岡山市 6、倉敷市 1、総社市 1、真庭市 1）で報告され、真庭地域での臨時休業は今シーズン初めてです。
- インフルエンザによる入院報告が、9 名ありました。

【速報】第3週 インフルエンザとみられる臨時休業が 108 施設でありました。（1月16日～1月19日まで）

▽岡山市 47 ▽倉敷市 19 ▽備前市 1 ▽玉野市 4 ▽瀬戸内市 1 ▽吉備中央町 1 ▽総社市 6
 ▽笠岡市 8 ▽浅口市 1 ▽井原市 2 ▽早島町 1 ▽里庄町 1 ▽矢掛町 1 ▽高梁市 5
 ▽新見市 1 ▽真庭市 3 ▽津山市 1 ▽久米南町 1 ▽美咲町 2 ▽勝央町 2



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

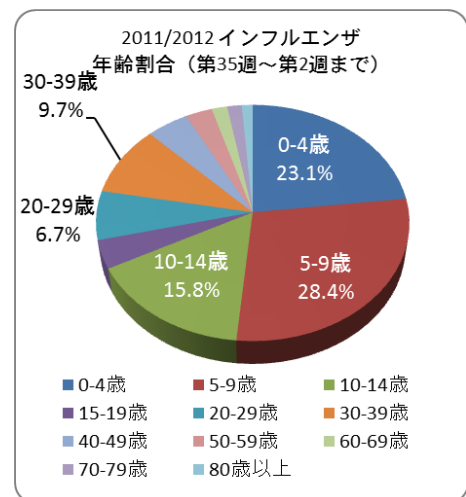
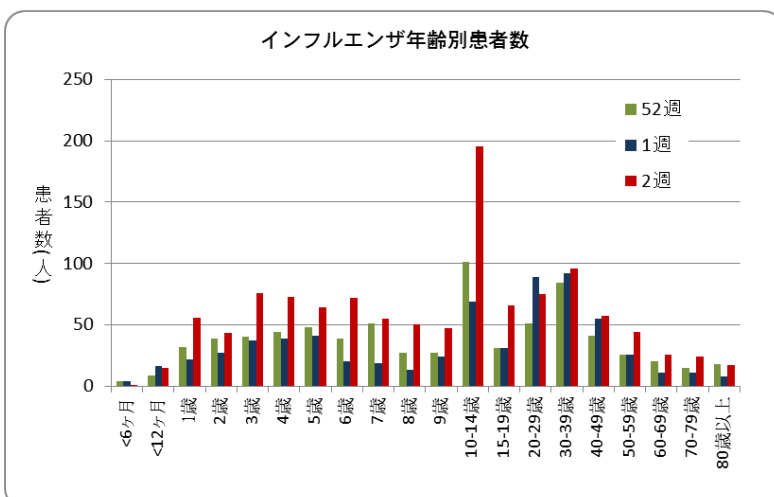
インフルエンザ患者数は 1,152 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 13.71 人 ）の報告があり、前週（ 654 名 定点あたり 7.79 人 ）より大きく増加しました。地域別では、倉敷市（ 24.00 人 ）、備中地域（ 19.33 人 ）、備前地域（ 11.20 人 ）、岡山市（ 10.73 人 ）、備北地域（ 9.33 人 ）、美作地域（ 6.40 人 ）、真庭地域（ 4.00 人 ）の報告があり、すべての地域で患者が増加しました。今週、県全体で感染症発生レベル 2 になり、地域別では倉敷市に加え、岡山市・備前地域・備中地域もレベル 2 になり、県南部を中心に感染が拡大しています。

インフルエンザとみられる学校の臨時休業が 9 施設（岡山市 6、倉敷市 1、総社市 1、真庭市 1）でありました。インフルエンザによる入院患者が 9 名（幼児 5 名、10 代 1 名、80 代以上 3 名）報告されました。

学校等の臨時休業が県内全域で多数報告され、感染が広く拡大しているものと思われます。人混みを避ける、外出後や食事前の手洗いを徹底するなど、感染予防に努めてください。また、症状のある方はマスクを着用するなど咳エチケットを行ってください。

1. 年齢別患者発生状況 第2週（1/9～1/15）

すべての年齢層で患者が増加していますが、特に幼稚園児・小学生・中学生・高校生に該当する年齢層で、患者の増加が顕著です。

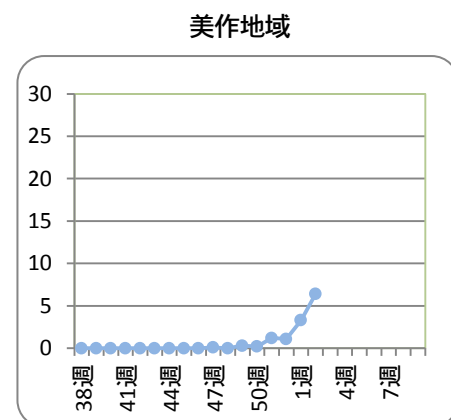
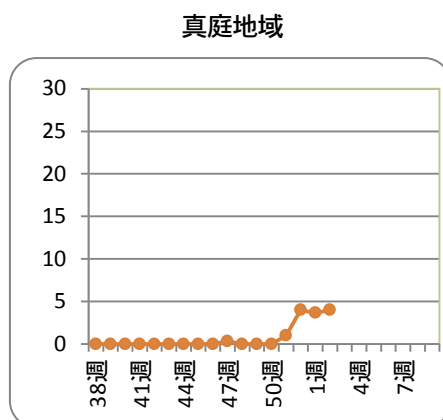
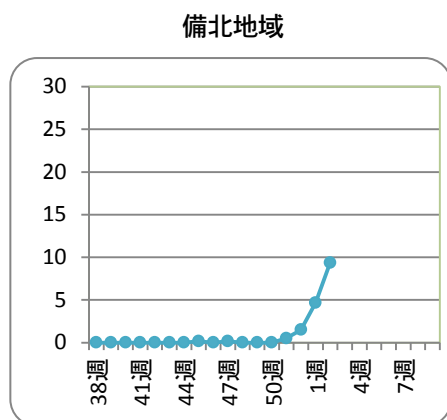
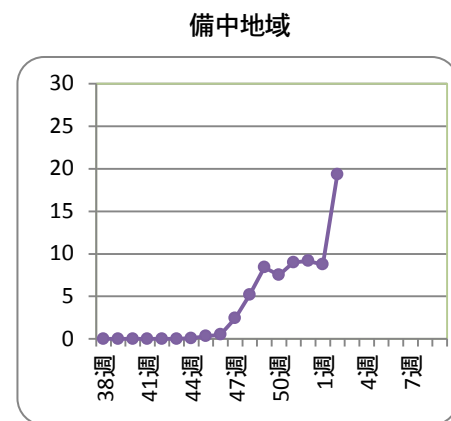
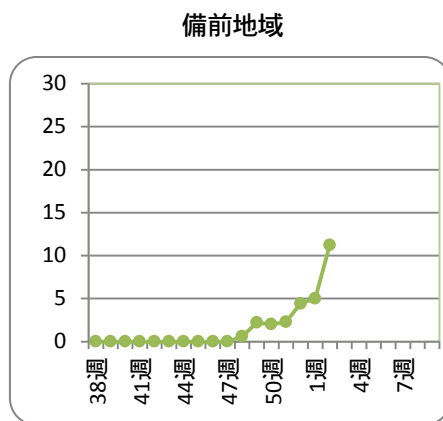
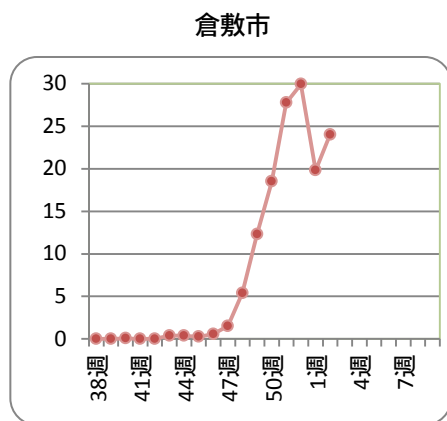
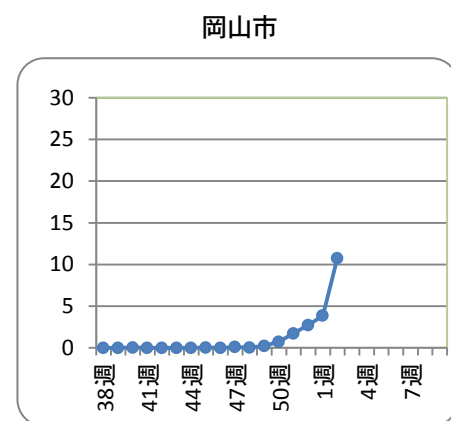
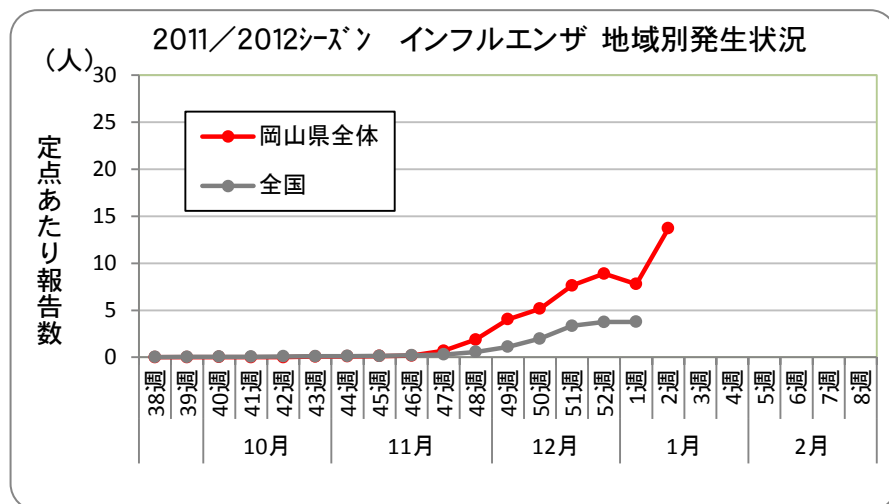


2. 地域別発生状況

第2週（1/9～1/15） 前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,152	▲	備 中	患者数	232	▲
	定点あたり	13.71			定点あたり	19.33	
岡山市	患者数	236	▲	備 北	患者数	56	▲
	定点あたり	10.73			定点あたり	9.33	
倉敷市	患者数	384	▲	真 庭	患者数	12	➡
	定点あたり	24.00			定点あたり	4.00	
備 前	患者数	168	▲	美 作	患者数	64	▲
	定点あたり	11.20			定点あたり	6.40	

【記号の説明】 前週からの推移： ▼ 2倍以上の減少 ▼ 1.1～2倍未満の減少 ➡ 1.1未満の増減
 ▲ 1.1～2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第2週（1/9～1/15）

学校等の臨時休業は、学年閉鎖2施設（岡山市1、真庭市1）、学級閉鎖7施設（岡山市5、倉敷市1、総社市1）の計9施設であり、真庭地域では今シーズン初めてとなる臨時休業が報告されました。

施設別では、小学校8施設、中学校1施設。有症者数は153名、うち欠席者数126名でした。

1月に入り岡山市からの報告が増加しています。

第2週までの合計は、有症者数1,025名、うち欠席者数736名、臨時休業は50施設になりました。

1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

（第3週発生の臨時休業数の掲載は、第3週週報で行います。）

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	153	1025	126	736	9	50	0	3	2	7	7	40	H23. 10. 31
岡山市	117	139	92	98	6	7	0	0	1	1	5	6	H23. 12. 15
倉敷市	15	715	13	485	1	30	0	1	0	2	1	27	H23. 10. 31
備前地域	0	81	0	66	0	6	0	1	0	2	0	3	H23. 12. 5
備中地域	10	79	10	76	1	6	0	1	0	1	1	4	H23. 11. 30
備北地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
真庭地域	11	11	11	11	1	1	0	0	1	1	0	0	H24. 1. 13
美作地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

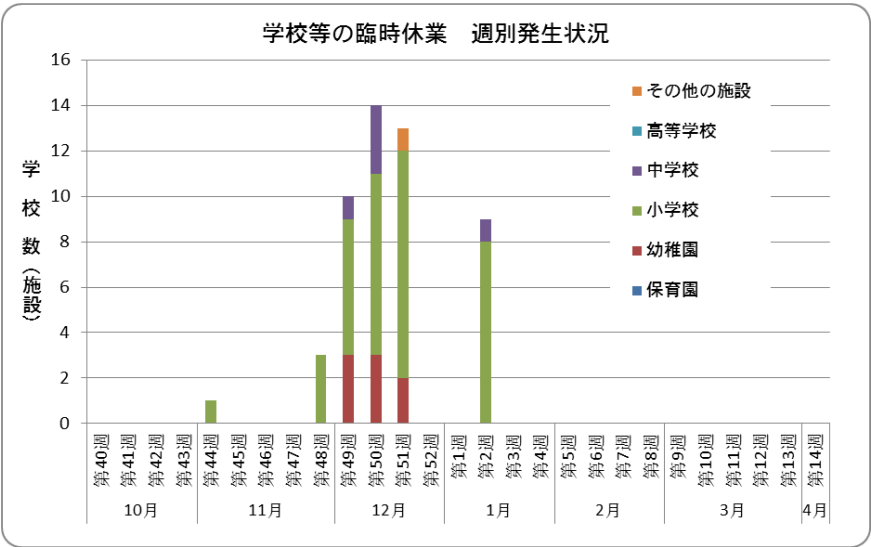
* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第2週（1/9～1/15）

岡山市：小学校5、中学校1
倉敷市：小学校1
備中地域：小学校1
真庭地域：小学校1

第2週：9施設 累計：50施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	8	8	35	1	5	—	—	—	1



➤ インフルエンザウイルス検出状況

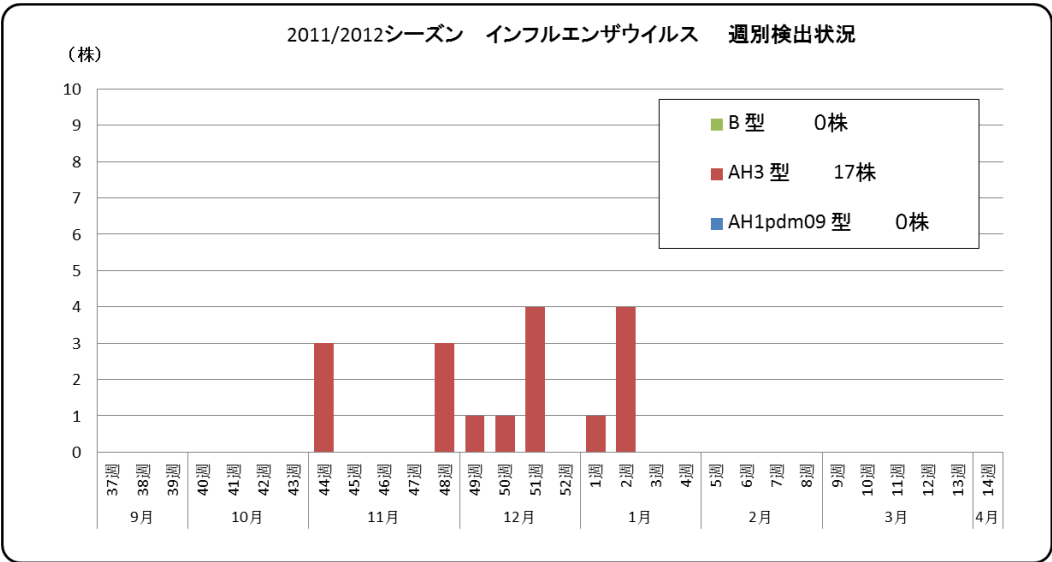
第 2 週（1/9～1/15）に検出されたインフルエンザウイルス

第 2 週に検出されたインフルエンザウイルスは、岡山市の散発事例 3 名から、インフルエンザウイルス AH3 型が、1 月 10 日に岡山市の中学校で発生した集団事例患者のうち 2 名から、インフルエンザ AH3 型が検出されました。岡山県でこれまでに検出されたインフルエンザウイルス 12 はすべて AH3 型です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型の割合が最も多く 90.6%、B 型が 9.0%、AH1 pdm09 型が 0.4% の順になっており、AH3 型が主流になっています。

([国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン](#))

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3 型	第 1 週	2012 年 1 月 5 日	岡山市	20 歳代	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	第 1 週	2012 年 1 月 6 日	岡山市	50 歳代	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	第 2 週	2012 年 1 月 10 日	岡山市	30 歳代	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	第 2 週	2012 年 1 月 10 日	岡山市	中学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルス AH3 型	第 2 週	2012 年 1 月 10 日	岡山市	中学生	男	集団発生事例



➤ 入院時の状況と年齢別内訳の累計 第 2 週（1/9～1/15）まで

(県内基幹定点 5 医療機関による報告)

第 1 週、インフルエンザによる入院患者の報告が 9 名（幼児 5 名、10 代 1 名、80 代以上 3 名）報告されました。今まで少なかった 10 歳以下の幼児で入院患者が増加しています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をお持ちの方、免疫機能が低下している方などでは重症化することがありますので注意が必要です。

* 平成 23 年 9 月 5 日以降に入院した各患者の累計数

年齢	1 歳未 満	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80 歳 以上	計 *
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含む)		3	1		1						2		7
頭部 MRI 検査 (予定含む)											2		2
脳波検査 (予定含む)		2									2		4
いずれにも該当せず			2	1			1				1	9	13
計 (一部重複あり) *		3	3	1	1		1				3	9	20

【第3週 学校等の臨時休業 速報】(1/16~1/19 まで)

【措置別】

休校5施設：井原市1、里庄町1、高梁市1、真庭市1、津山市1

学年閉鎖24施設：岡山市8、倉敷市3、備前市1、玉野市1、新見市1、総社市2、井原市1、笠岡市1、
浅口市1、矢掛町1、高梁市1、新見市1、久米南町1、美咲町1、真庭市1

学級閉鎖79施設：岡山市39、倉敷市16、玉野市3、瀬戸内市1、吉備中央町1、総社市4、笠岡市7、
早島町1、高梁市3、真庭市1、勝央町2、美咲町1

【施設別】

保育園 0 ▽幼稚園 17 ▽小学校 70 ▽中学校 17 ▽高等学校 4 ▽その他 0

【日付・地域別】

1月16日 ▽岡山市：16 ▽倉敷市：8 ▽備前地域：備前市1、玉野市1、瀬戸内市1

▽備中地域：総社市3、笠岡市2、浅口市1、井原市1、里庄町1、矢掛町1

▽備北地域：高梁1 ▽真庭地域：真庭市3

▽美作地域：津山市1、久米南町1、美咲町2、勝央町1

1月17日 ▽岡山市：11 ▽倉敷市：2 ▽備前地域：吉備中央町1 ▽備中地域：総社市1、笠岡市2

▽備北地域：高梁市2

1月18日 ▽岡山市：9 ▽倉敷市：2 ▽備前地域：玉野市2 ▽備中地域：総社市1、早島町1、笠岡市1

1月19日 ▽岡山市：11 ▽倉敷市：7 ▽備前地域：玉野市1

▽備中地域：総社市1、笠岡市3、井原市1 ▽備北地域：高梁市2、新見市1

▽美作地域：勝央町1



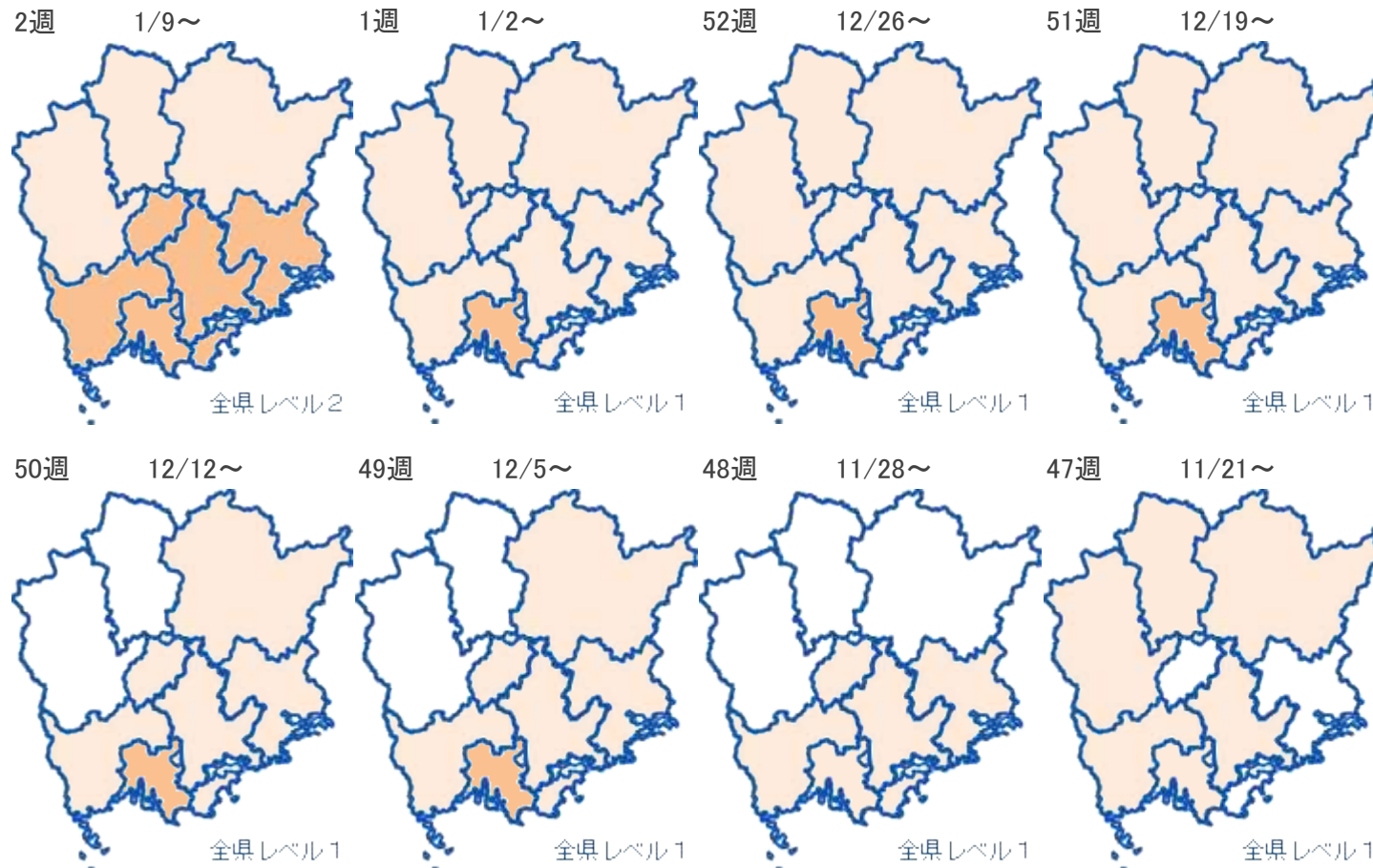
岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2012年 2週

2012年1月20日

10:40:37



インフルエンザ

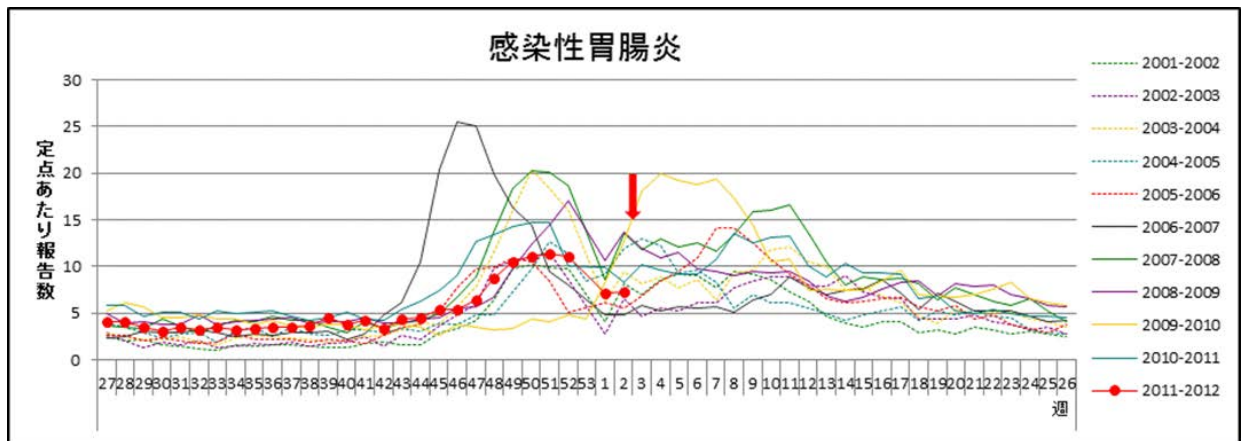


レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎情報 第 2 週 2012 年 1 月 9 日～1 月 15 日

- 岡山県内の患者報告数は 396 名（定点あたり 7.33 人）で、前週よりわずかに増加しました。
- 備北地域・岡山市・真庭地域で患者が増加しました。

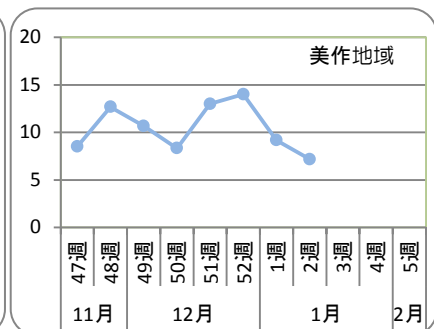
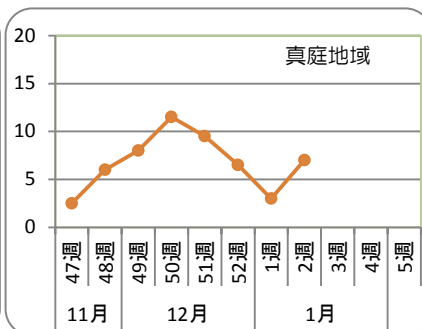
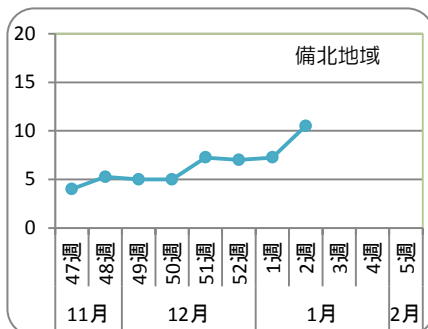
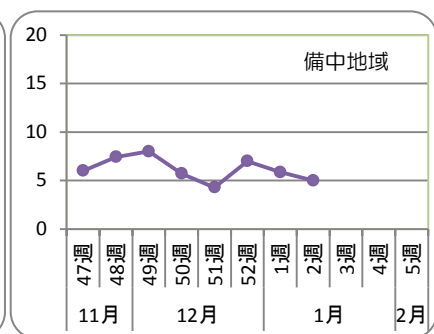
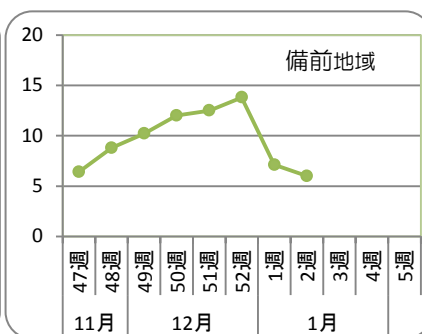
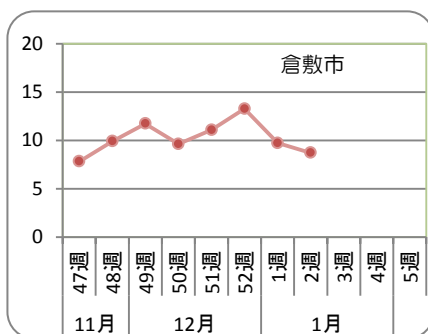
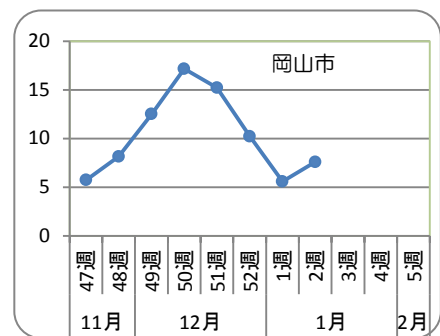
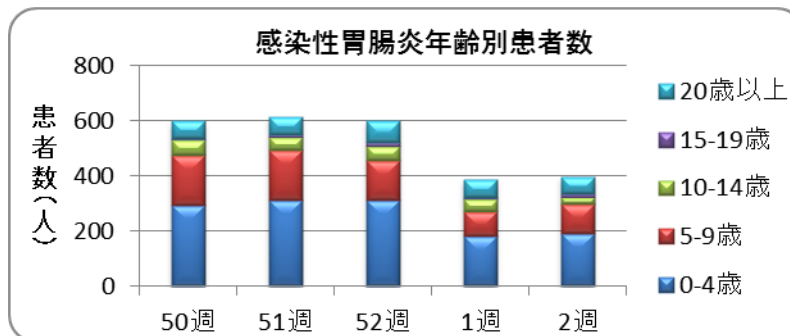


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週よりわずかに増加しました（54 定点医療機関 定点あたり 7.17 → 7.33 人）。備北地域（7.25 → 10.50 人）、岡山市（5.57 → 7.57 人）、真庭地域（3.00 → 7.00 人）で増加し、倉敷市（8.73 人）では患者が多い状態が続いています。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占め、また今週は 5～9 歳の増加も目立ちます。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。手洗いを徹底するなど感染予防に努めましょう。

冬の集団発生事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・ [家庭等一般の方々へ](#) ・ [医療従事者・施設スタッフ用](#)



保健所別報告患者数 2012年 2週 (2012/01/09～2012/01/15)

2012年1月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1152	13.71	236	10.73	384	24.00	168	11.20	232	19.33	56	9.33	12	4.00	64	6.40
RSウイルス感染症	22	0.41	14	1.00	2	0.18	3	0.30	—	—	—	—	1	0.50	2	0.33
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	—	—	2	0.20	—	—	1	0.25	—	—	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	0.52	10	0.71	9	0.82	—	—	5	0.71	—	—	2	1.00	2	0.33
感染性胃腸炎	396	7.33	106	7.57	96	8.73	60	6.00	35	5.00	42	10.50	14	7.00	43	7.17
水痘	67	1.24	28	2.00	20	1.82	11	1.10	3	0.43	—	—	—	—	5	0.83
手足口病	30	0.56	17	1.21	4	0.36	2	0.20	—	—	5	1.25	—	—	2	0.33
伝染性紅斑	11	0.20	2	0.14	—	—	2	0.20	—	—	—	—	—	—	7	1.17
突発性発疹	22	0.41	12	0.86	3	0.27	3	0.30	1	0.14	—	—	1	0.50	2	0.33
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	2	0.04	—	—	2	0.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	38	0.70	20	1.43	10	0.91	2	0.20	5	0.71	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	—	—	4	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	5	1.00	4	4.00	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 2週 (2012/01/09～2012/01/15)

2012年1月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1152	13.71	236	10.73	384	24.00	168	11.20	232	19.33	56	9.33	12	4.00	64	6.40
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	—	—	2	0.20	—	—	1	0.25	—	—	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	0.52	10	0.71	9	0.82	—	—	5	0.71	—	—	2	1.00	2	0.33
感染性胃腸炎	396	7.33	106	7.57	96	8.73	60	6.00	35	5.00	42	10.50	14	7.00	43	7.17
水痘	67	1.24	28	2.00	20	1.82	11	1.10	3	0.43	—	—	—	—	5	0.83
手足口病	30	0.56	17	1.21	4	0.36	2	0.20	—	—	5	1.25	—	—	2	0.33
伝染性紅斑	11	0.20	2	0.14	—	—	2	0.20	—	—	—	—	—	—	7	1.17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	2	0.04	—	—	2	0.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	38	0.70	20	1.43	10	0.91	2	0.20	5	0.71	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	—	—	4	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第2週 2012/01/09～2012/01/15)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1152	1	15	56	43	76	73	64	72	55	50	47	195	66	75	96	57	44	26	24	17

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	22	8	5	3	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	-	-	-	3	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	-	1	2	2	3	5	5	3	2	-	1	4	-	-
感染性胃腸炎	396	4	16	60	58	34	18	34	22	23	13	14	27	11	62
水痘	67	-	8	16	16	7	6	5	1	3	3	-	1	1	-
手足口病	30	-	1	11	5	4	3	3	2	-	-	-	-	1	-
伝染性紅斑	11	-	-	-	2	-	1	5	2	1	-	-	-	-	-
突発性発疹	22	-	10	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	38	-	-	1	3	4	3	7	3	6	6	1	2	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

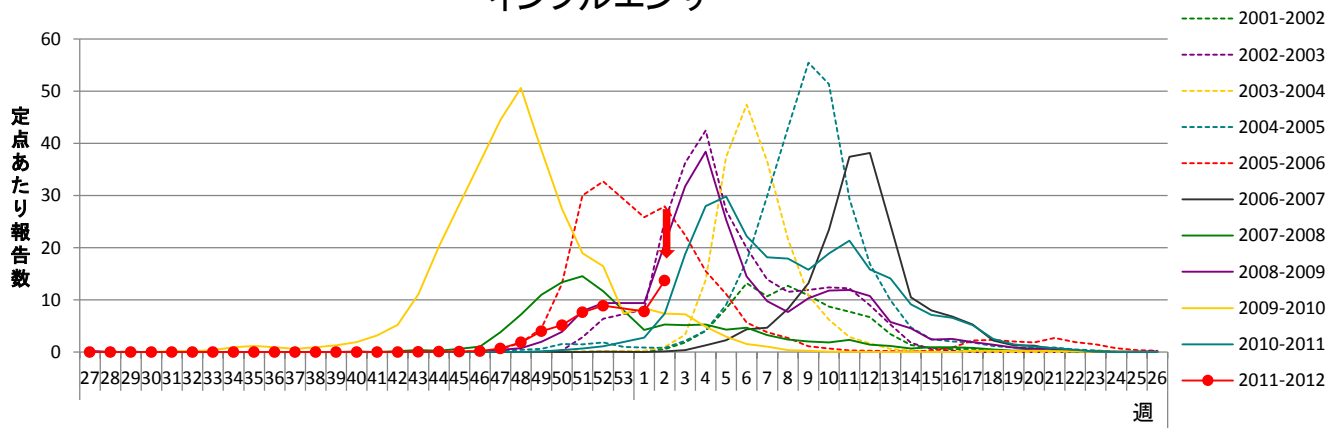
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

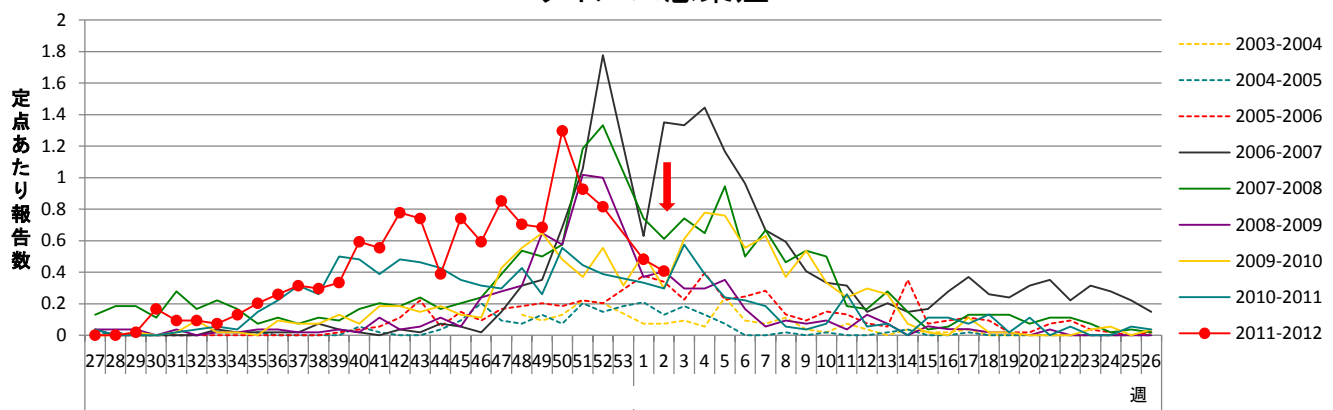
2012 年 2 週

分類	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	-	519	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	-	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	-	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	-	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	1	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	-	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	-	4		-	-	-		-	-	-

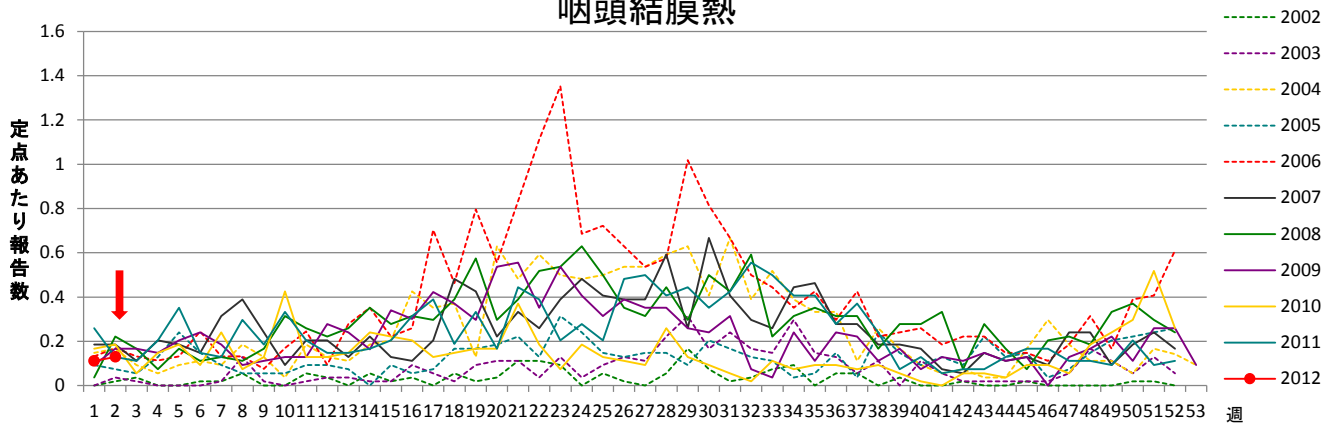
インフルエンザ



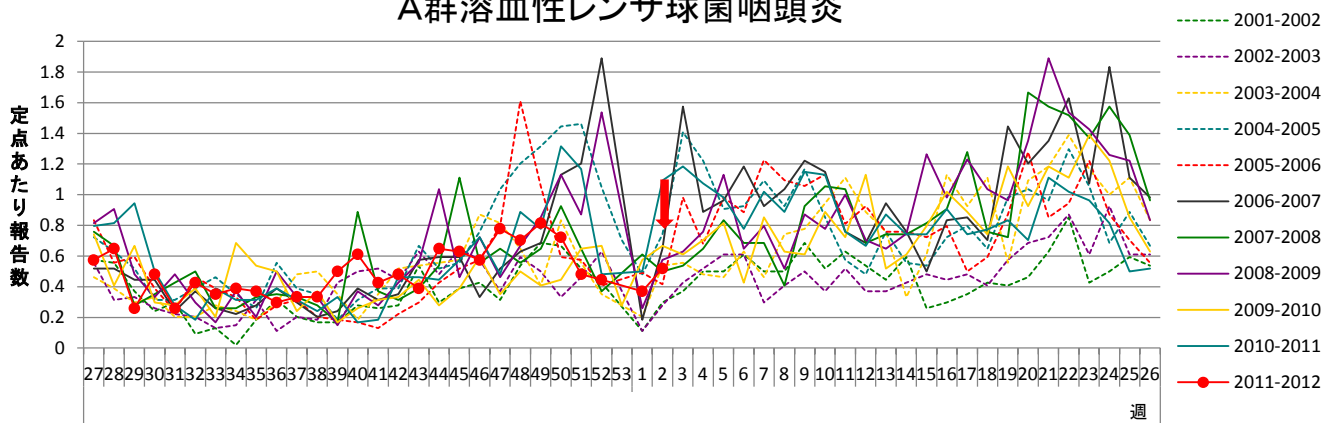
RSウイルス感染症



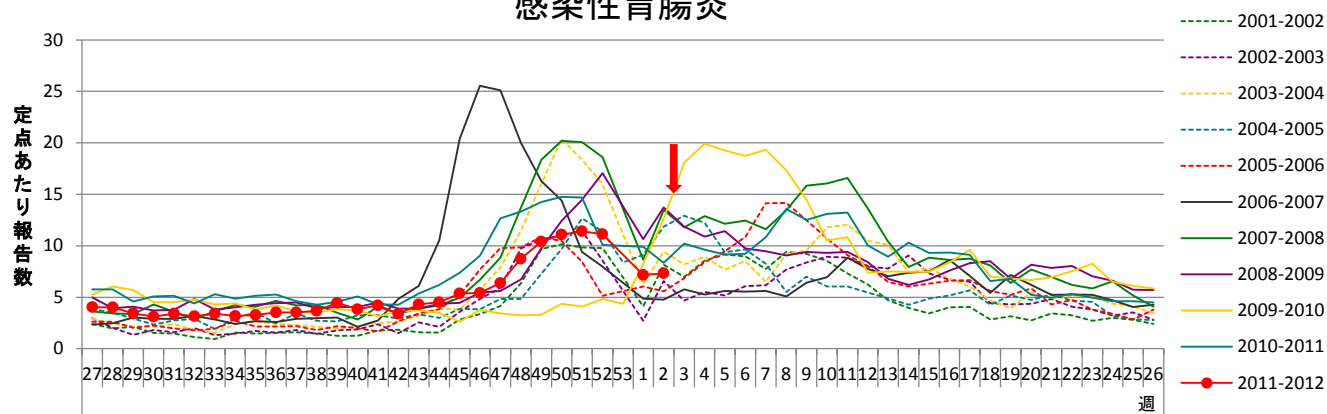
咽頭結膜熱



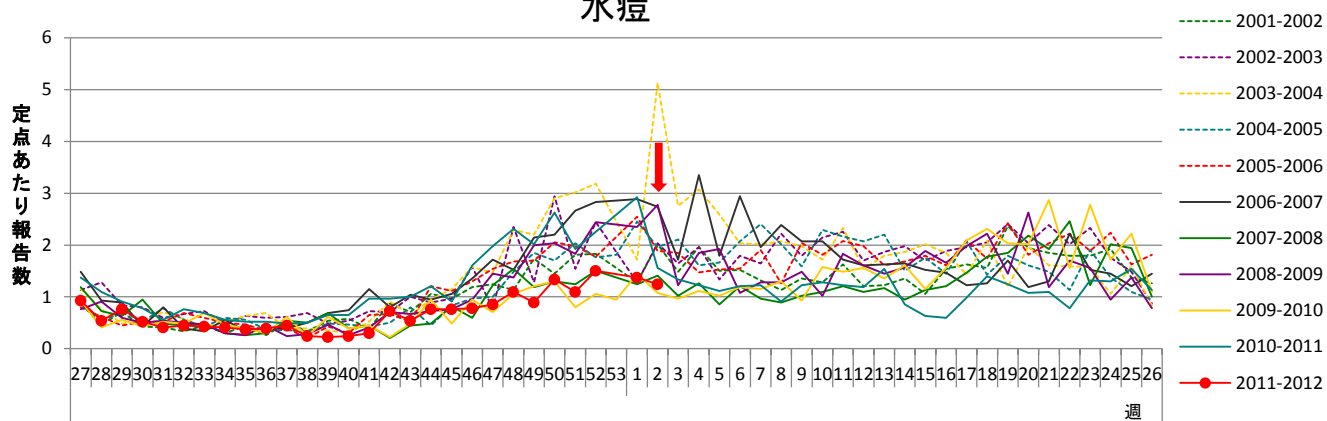
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



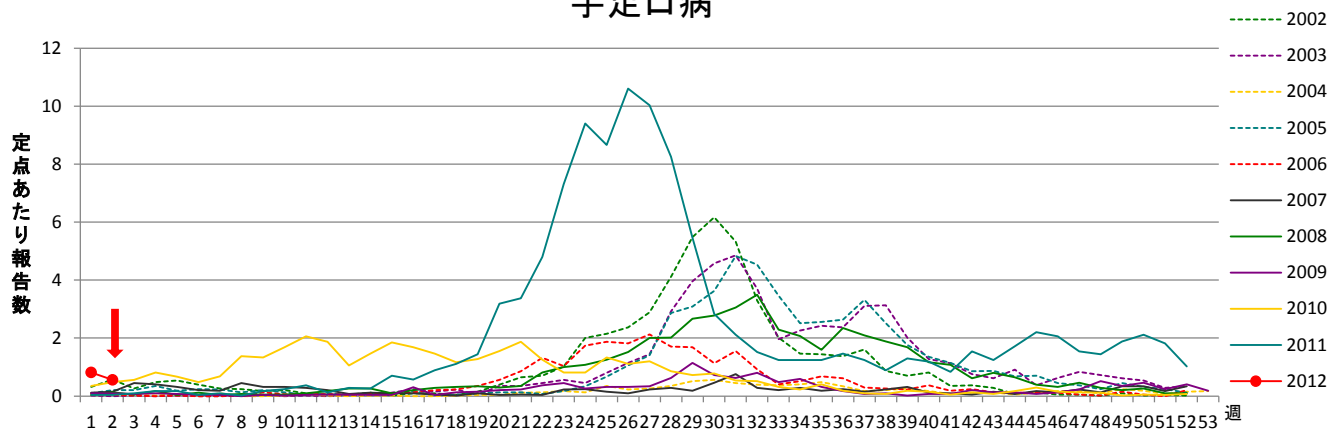
感染性胃腸炎



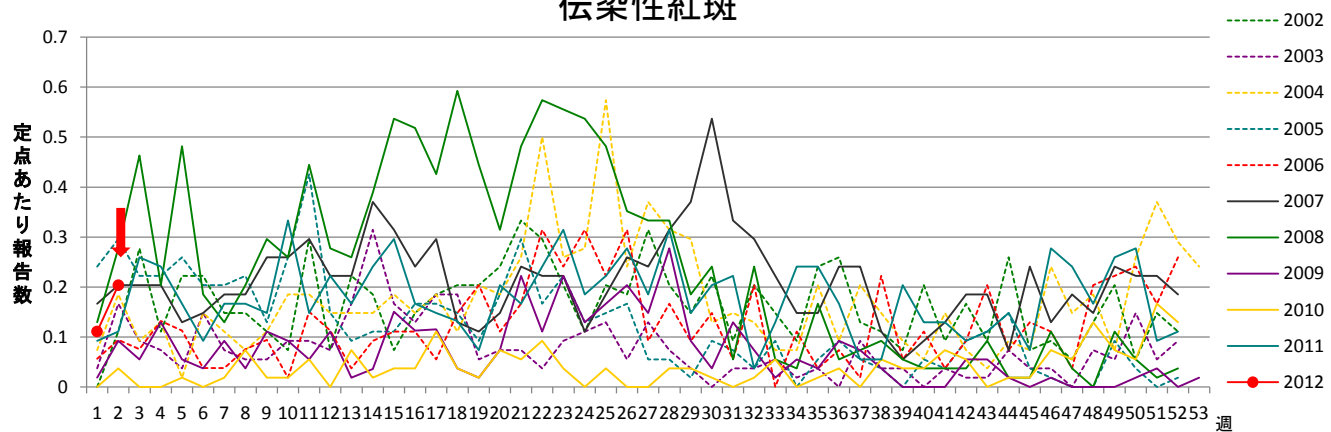
水痘



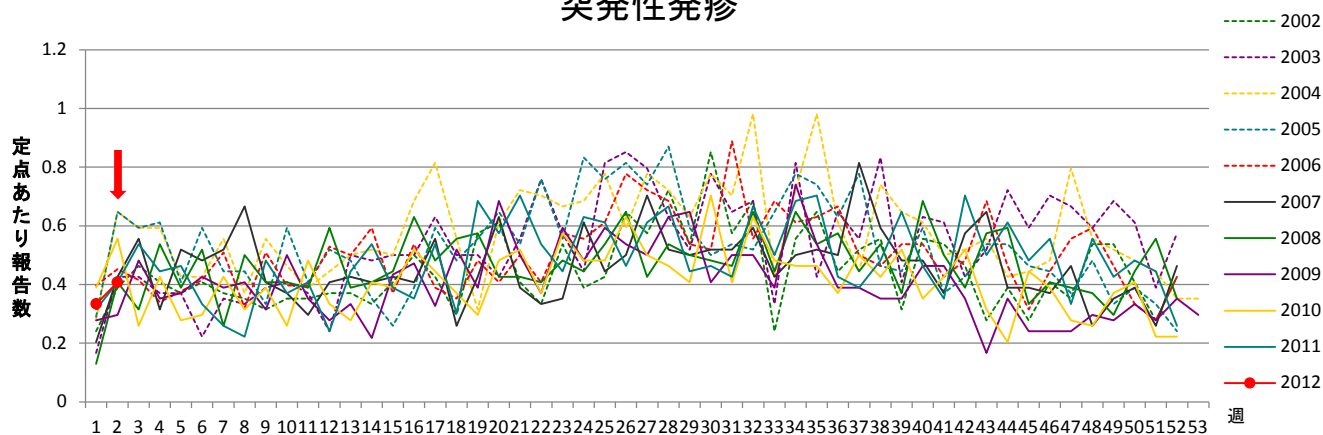
手足口病



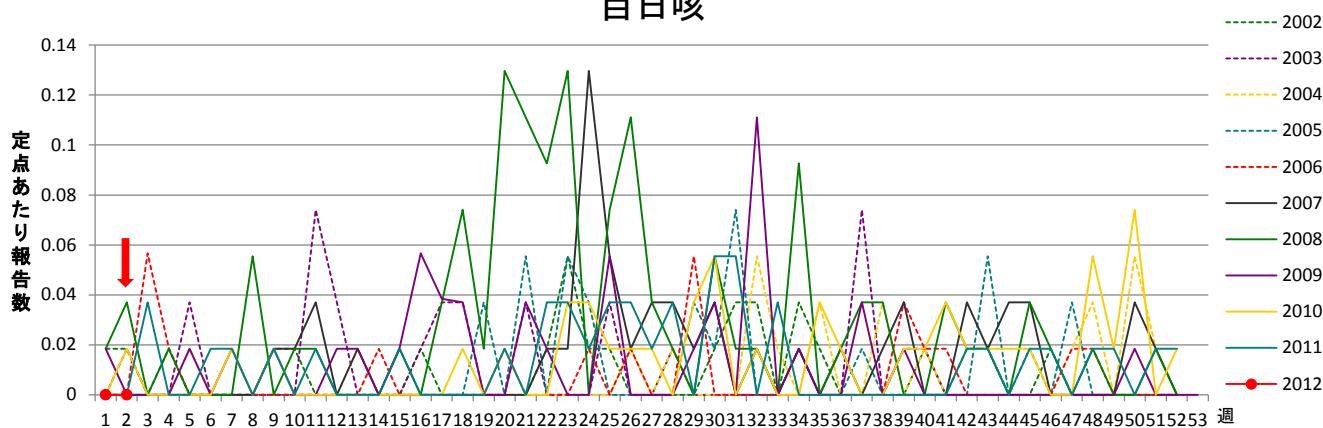
伝染性紅斑



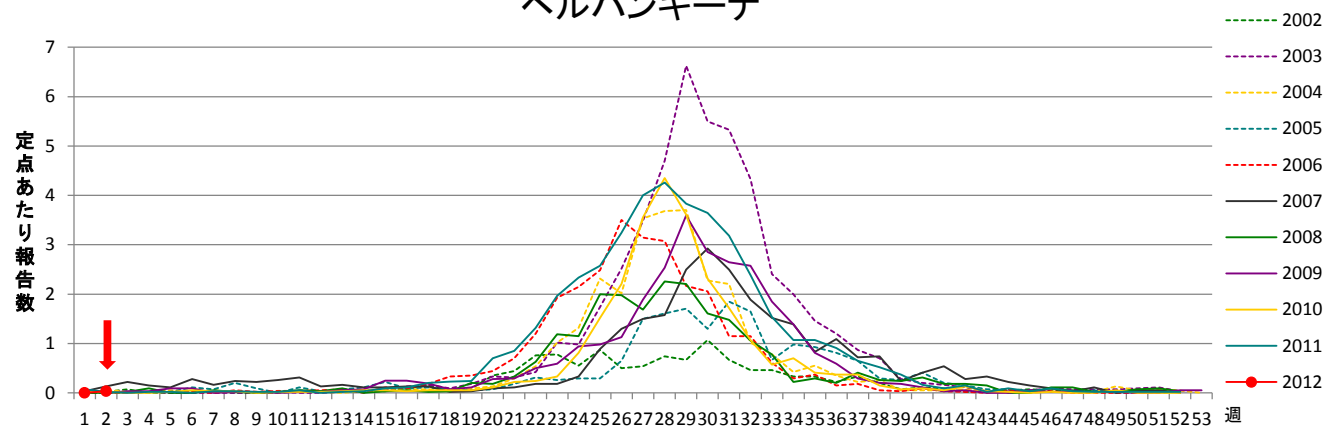
突発性発疹



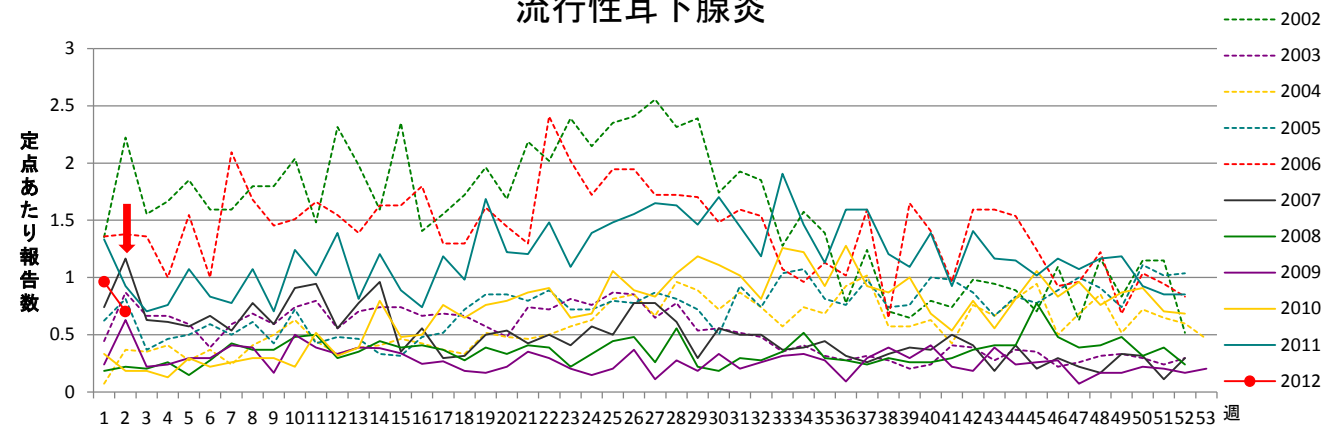
百日咳



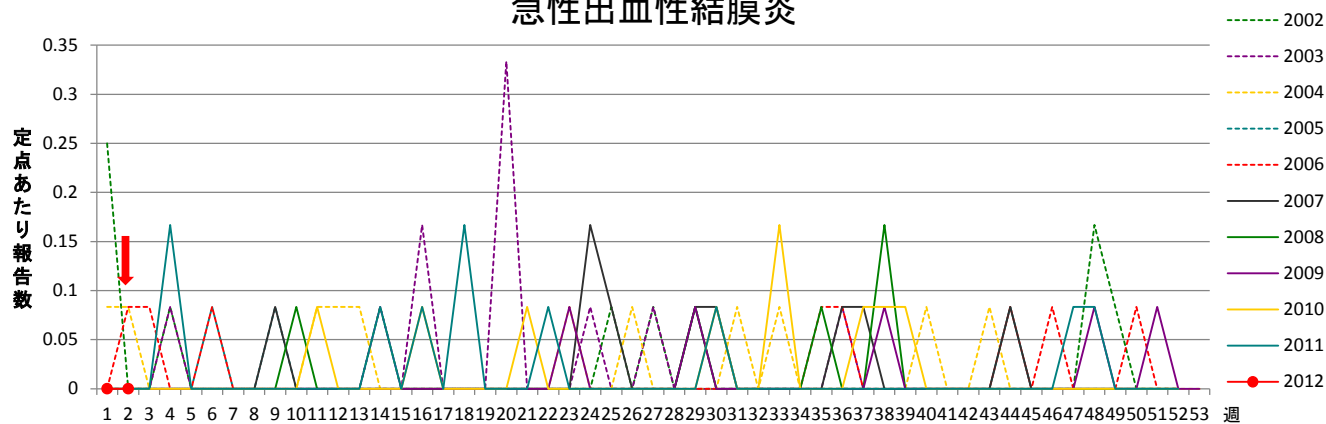
ヘルパンギーナ



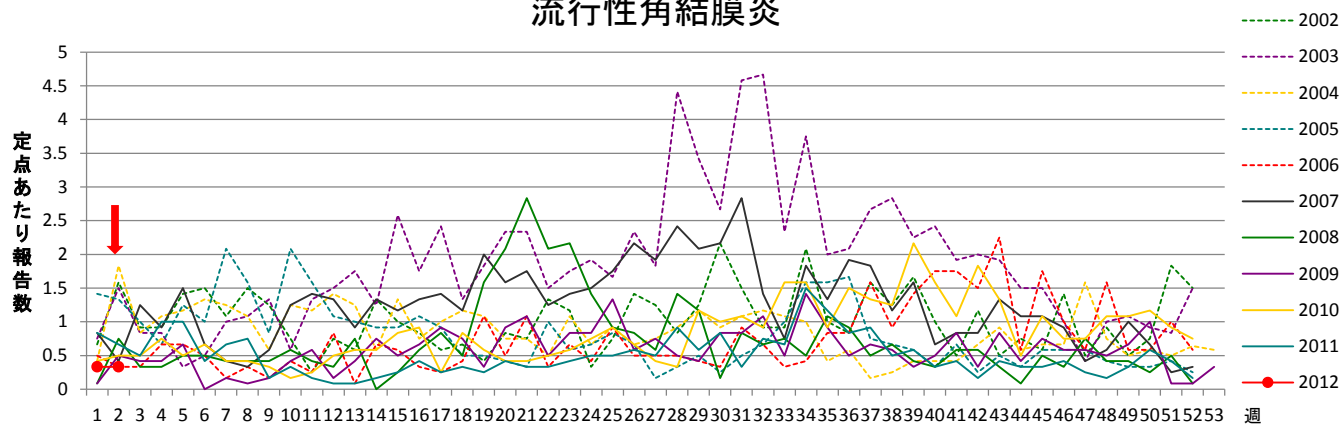
流行性耳下腺炎



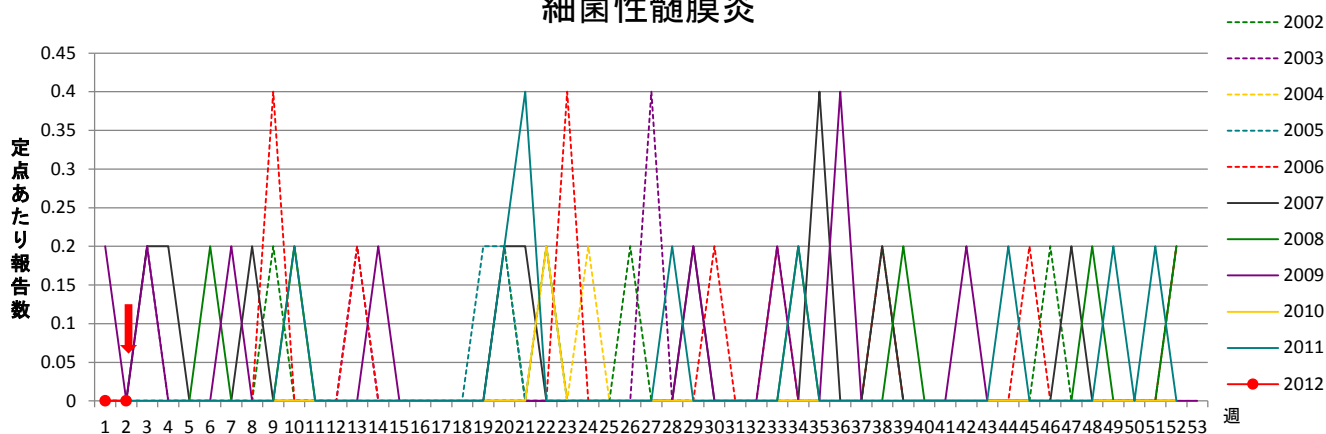
急性出血性結膜炎



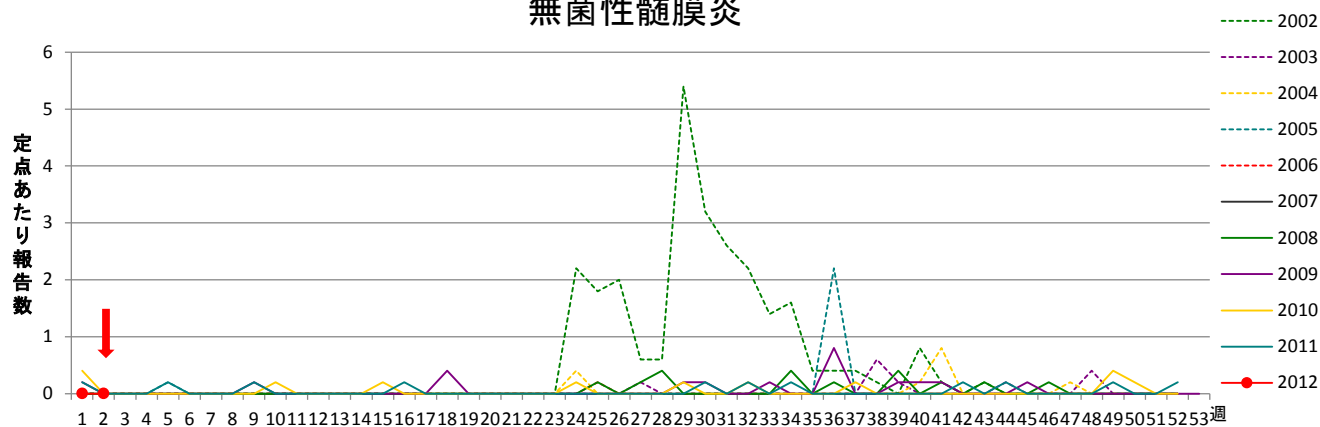
流行性角結膜炎



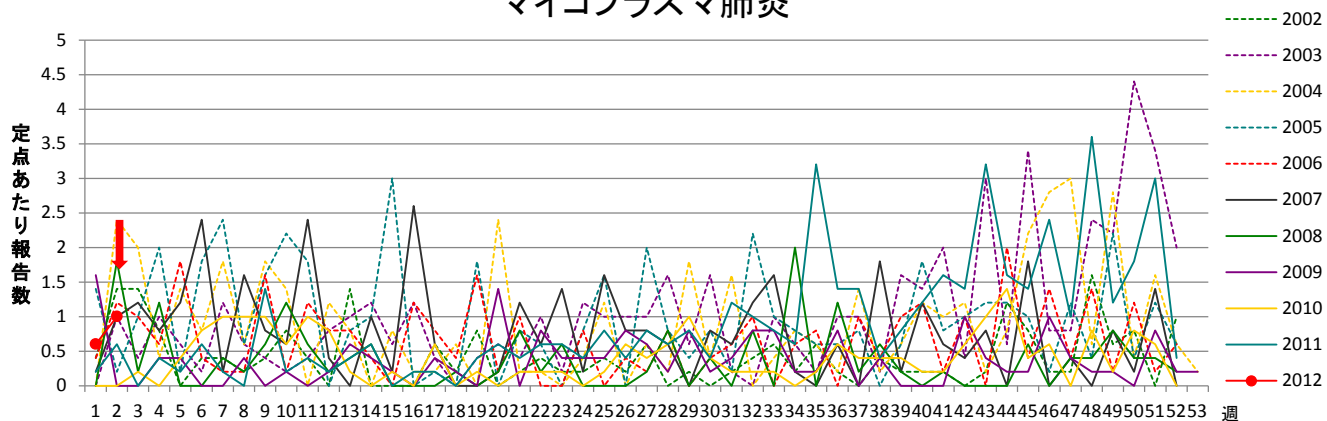
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

